

校長のつぶやき II

校長室便り 第38号

令和2年10月21日 山内

○スポーツの秋 芸術の秋 –新人大会速報 卓球部 弓道部 大崎地区優勝–

10月に入って運動部の新人大会の結果が報告されてきました。

まずは卓球部。女子団体は準決勝で古川黎明を下し、決勝でも古川高に勝って優勝、昨年度に続く団体2連覇を達成しました。女子個人は2年生の佐々木珠莉奈さんと1年生の辻胡桃さんの岩高同士の対決となり、佐々木さんがこちらも昨年度に続き大会2連覇を達成しました。県大会は11月に岩沼で開催されます。2年生の大場さん・菊池さんを含めた団体戦でも上位を狙ってください。

続いては弓道部。女子個人の部では2年生の野月楓さんが見事に優勝しました。男子も個人で2年生の高橋正樹さんが3位に入るなど躍進が目立ちました。コロナの影響で、卓球や弓道は総体にあたる大会がありませんでした。3年生の先輩達は悔しい思いをしたと思います。ですから後輩の1・2年生は3年生の思いも含めて県大会を頑張ってきてください。

文化部の報告もありました。昨年は東北地区予選を上位で勝ち抜き、県のコンクールでもあと一步で東北大会までと躍進した演劇部ですが、今年は惜しくも地区大会をあと一步のところまで通過できませんでした。それでもまだ次があります。実力は証明済みですから、またコツコツと取り組んでください。結果だけではありません、その取り組む姿勢と過程です。

○秋の高校野球東北大会 –公立校柴田高校躍進–

岩高野球部は合同チームで秋の初戦で仙台一高と4対6と接戦を演じて惜敗しました。一高はその後勝ち進みましたが、準々決勝で唯一公立校から4強入りした柴田高校に敗れました。柴田は3位決定戦で古川学園を下し育英、東北とともに東北大会に進みました。

東北大会では学法石川、八戸光星、昌平、日大山形といった各県の優勝校の私立校を破って決勝に進みました。投球制限から決勝の育英戦ではエースが投球できず18-1で大敗し、選抜されるか微妙だという報道もありますが堂々の準優勝です。

皆さんの柴田高校のイメージは「体育科」があって、設備も充実していて運動部が強くて当たり前といったことかもしれません。私も何度か仕事で訪れたことがありますが、もの凄く礼儀正しいです。しかもあいさつが「チャース」とか「オイース」といったものではなく、若者らしく自然に「こんにちは」と爽やかなものでした。チームを率いる監督の平塚誠先生は私の元同僚です。何気ないことですが、平塚先生は当たりのことを徹底しているのだと思われまます。数年前、夏の甲子園県予選で同じ公立校に敗れ、そのチームが甲子園に出場したときに平塚先生は色んなところに出向いて寄付を募って協力したことは今でも覚えています。もし柴田が選抜されれば、当時の恩返しで応援してくれる人たちがたくさんいると思います。来年1月末に大阪での会議で決まるはずですが。期待を込めて見守りたいと思います。

宮城の公立校を応援しています。いや私立も公立もなく皆すべて宮城の高校生を応援しています。ではこれで校長のつぶやきはお終いです。最後に私が選んだ3作をお届けします。岩高生の感性すごいです。

○岩高短歌7月・8月（お題 夏 最後 星）

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 最終回終わってしまうラストプレー白球飛び込むレフトスタンド | （月間賞 3年2組 松浦力樹） |
| 高総体発散できない三年の努力はいったいどこにいくのか | （優良賞 3年2組 古内 虹） |
| 登り坂私の手には扇風機夏の暑さに汗ばむ額 | （佳作 1年1組 三浦明音） |